

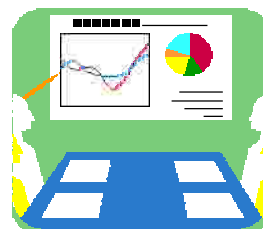


- 若年性軽度認知症・高次脳機能障害デイケア（介護保険非適用）
- 地域学童保育
- ケアマネジメントセンター
- 土曜日プログラム
- ソーシャルスキルトレーニング
- ペアレントトレーニング
- 認知症介護相談事業（カフェ事業）

まどか \* 円 \* えん \* 縁 \* えにし \* 縁 \* えん \* 円 \* まどか

## <平成27年度 まどか社員総会報告>

平成27年5月23日（土曜日）、社員総会を行いました。  
毎年のごとく、出席は出来ないまでも、「委任状」を送っていただき、  
規程に定めるとおりの手続きで、総会が成立しました。少なくともご  
関心を持って頂いているサポーターの存在があってこそこの  
地域福祉活動ですので、感謝に堪えません。



決算概要と予算概要は以下の通り、事業計画は別枠記載の通り承認されました。ありがとうございました。

### 平成26年度決算

収入	8,433千円	（会費 256 事業収益 2,528 助成金 1,090 寄付 4,559）
支出	7,105千円	（人件費 4,230 その他費用 2,875）
当期収支	1,328千円	

### 平成27年度予算

収入	5,839千円
支出	5,822千円
収支差額	17千円

## 27年度事業計画・重点項目概要

- 1, サポーターの確保
- 2, プログラムの展開  
土曜日プログラム ソーシャルスキルトレーニング（SST）・ペアレントトレーニング（PT）  
茨城県自殺予防対策モデル事業（電話相談・FAX・メール相談）
- 3, 利用者確保  
若年性認知症デイケア部門 1日あたり利用者2名  
学童保育部門 登録16～18名、平均利用者10～11名  
長期休み期間平均利用者7名  
ケアマネジ 外部部門 ケアプラン12名 認定調査月6件
- 4, 活動資金の確保
- 5, 職員の資質向上  
学童保育指導員研修への参加



## ボランティア



まどかでは、いっしょに活動していただけるボランティアを常時募集しています。  
ともに地域福祉を拡げていきませんか？  
宿題やパソコンを指導して頂ける方、楽しい遊びを提供できる方。  
子どもと過ごすのが楽しい方。  
さらには、一定の条件の下で、児童の送迎ができる方等、お待ちしております。

お問い合わせは



ホームページで！！

## 学童保育部門



大賑わい

27年度の事業計画の項でもお知らせしましたが、計画では登録18人程度、平均利用者10人程度を見込んでいましたが、お陰様で、既に利用登録21人、平均利用者12人となっていて、早々と計画達成となっています。それだけ、社会のニーズが高いということでしょうか。そのため、新規のお問い合わせには、お応えできない状況となっています。場所とスタッフが、現状では手一杯。かといって、そのための投資をするリスクは高いのが現状です。今のままの受け皿で、ぎりぎりまでニーズに対応していこうと考えています。

就学後の特別支援学童保育も可能です

あらゆるニーズにお応えするのがまどかのコンセプト！  
制度で対応できない発達期の支援  
についてもお気軽にご相談ください。



## まどか土曜日プログラム&SST 今後の予定

毎回好評の土曜日プログラム。SSTやペアトレを含めて今後の予定は下記の通りです。  
気になるプログラムがあれば、お気軽にお問い合わせください。

8月	SST随時開催中 ペアトレ 秋から開催予定 馬場先生の理科教室 『自由研究支援プログラム』	11月 12月 1月 2月	須崎講師の アロマセラピー 久松さんのそば打ち教室 綿引講師師の初春スイーツ 菊池講師の郷土料理
10月	松本先生のプログラム		





若年性認知症ケア事業・認知症カフェ事業・認知症介護相談事業

認知症は活動性の低下から始まります。

活動性の確保は「やってみたい」気持ちになることが先決です。自分で思い立つのでも、家族や知人から勧められるのでも構いません。動機づけが大事。

はじめはイヤイヤでも、始めることが認知症予防、または悪化防止の第一歩。

動けば、自然と他人と話すことになります。ロボットと話すのは論外。なぜかという、ロボットは自分からは勝手に動かないし、世話を焼いてくれないから。(もっと高度に進化しているものがあるかもしれませんが)

さらに、例え動いていても、同じ事を同じようにしては、効果は薄いです。

複数の行動(見る・考える・手足を動かすなど)を同時に、しかも何種類も行うと、良いみたいですね。

ただ、解剖学的には明らかにアルツハイマー病でも、全く症状が出ない人もいます。

要は、個人差。あまり心配しない方が良いでしょう。

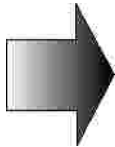
まどかの認知症介護家族支援事業では、在宅で介護されているご家族とともに来所頂いて、ともに見守ったり、好きな作業を行ったりして時間を過ごします。

どちらも、詳しいことは電話、ファックス、メールでお問い合わせ頂くか、ホームページでご確認ください。

お問い合わせ、お申し込みは、電話029-867-6117 もしくは下記番号まで。



こちらも  
ご注目!



認知症介護相談事業を行っています!!

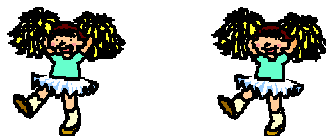
悩みや負担感を遠慮なくお聞かせください。

専用電話 029-867-5233

居宅生活支援事業も行っています・・・対象とする利用者の自宅を訪問しての支援です

軽度認知症の方のご自宅に訪問し、話し相手・散歩・病院の付き添いなど、いわゆる家事援助以外の支援を行い、利用者の「出不精」を緩和し、他人との交流のきっかけ作りを行います。詳しくはお問い合わせください。

## まどかサポーターのご案内



まどかのサポーター会員の方を募集しています。社会にある、福祉問題に関心がある方、活動に賛同して頂ける方は、是非仲間に加わってください。小さな地域の輪が、いずれ大きな運動につながることを確信して・・・継続が力です。

正会員・・・年一回の総会で表決権一票を持ちます・・・・・・・・・・年会費 5千円

準会員・・・総会にて意見を申述できますが表決権は持ちません・・・年会費 3千円

( 27年 7月 現在 正会員 46名 準会員 23名 )

会員特典！ 茨城県の観光名所、袋田の滝の入口、目の前にある『菊池みやげ店』さんのご協力で、会員証ご提示の方に、飲食時に特別サービス品をご提供頂けます。飲食しない方にも、おみやげ購入時にサービス品の提供が受けられます。奥久慈に行かれた際は、是非お立ち寄りください。



## 児童用図書やコミック・ゲーム・消耗品等のご寄付のお願い

ご家庭に眠っている、貴重な宝物を、まどかで是非活用させて下さい！

皆さんの善意で成り立っているまどか、何でも構わないので、心当たりがあったらご連絡ください。

カードゲームやコミック（ただし健全なもの）

冷蔵庫や洗濯機などの白物家電、学童の椅子のカバーに使う端布なんかありませんか？

折り紙やクレヨンや色鉛筆などの半端なもの。塗り絵用の原画とか、「本読み」タイムに使える絵本や

小学校低学年用の単行本など、捨てるくらいなら

是非ご寄付をお願いします。



\*\*\* ゆめのあとさき ~編集後記~ \*\*\*

虚弱高齢者の指標で「ふくらはぎ」の太さを測るのがあるそうです。両手の親指と人差し指で輪を作り、ふくらはぎがその輪の大きさ以下なら、筋肉不足で虚弱予備軍なんだそうです。

太ってはいけませんと言い、やせてはいけませんとも言っています。若さと見た目の良さで「小顔」とスリムがあります。小顔は脳の容積低下につながります。スリムは筋肉減少につながります・・・。ただ生きていくだけでも大変です。そう言えば、どこかの若者達は「人差し指」「中指」「くすり指」がどれなのか、分かりませんでした。

いろんな意味で、健康寿命を延ばさねばなりません。

「この道しかない」は、どなたかのキャッチフレーズですが、人間の尊厳保持には反していますし、認知症予防にもなりません。暑い夏を乗り切りましょう。

文責 理事長 渡辺隆生 ( つくば国際大学講師 社会福祉士 )



特定非営利活動法人 まちなか交友館 まどか

〒 300-4231 茨城県つくば市北条51-1  
電話 029-867-6117 FAX 029-867-6118  
ホームページ <http://www.machinakamadoca.org>  
ブログ <http://yaplog.jp/machinakamadoc/>  
利用条件等はホームページでご確認ください